

令和5年度第1回森林の未来を考える懇談会資料

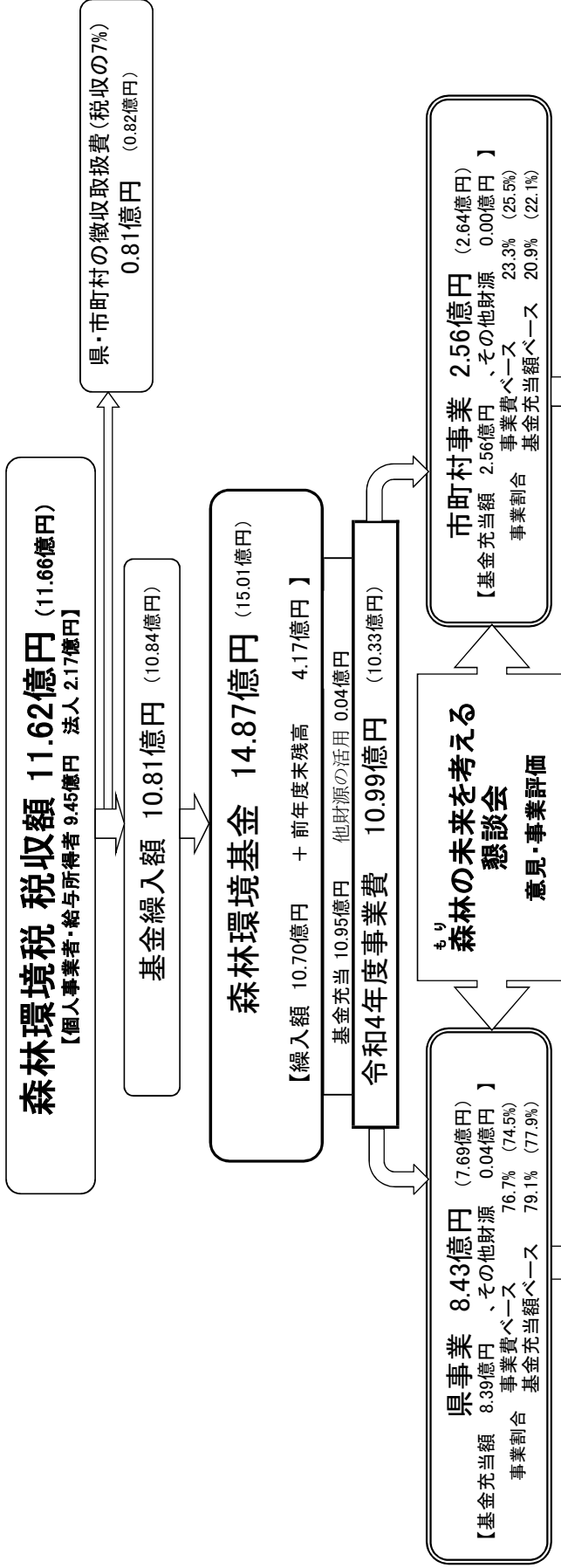
# 令和4年度森林環境基金事業 の実績について

令和5年7月26日

福島県農林水産部森林計画課



# 令和4年度森林環境基金事業の枠組(実績)



<p><b>森林環境を保全するための事業</b> 755,841千円 (673,878千円)</p> <p><b>1 森林環境の適正な保全</b> 534,755千円 (499,125千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「水源区域」及び水源から養機能又は山地災害防止機能を重視する区域での森林整備を支援</li> <li>里山林の整備と野生動物や森林病害虫の被害抑制を支援</li> <li>花粉症対策品種の種子確保及び苗木の供給</li> <li>施業集約化を促進するための支援</li> <li>森林クラウド・ふくしま森まっぶの運用</li> </ul> <p><b>2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり</b> 221,086千円 (174,753千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備を促進するための路網整備</li> <li>木質バイオマス利用促進</li> <li>CO2削減とバイオマスエネルギー利用の普及支援</li> <li>木育の機会の創出及び木育を推進する人材の育成</li> <li>木材利活用拡大に向けた新たな可能性への取組</li> <li>地域に適した技術の継承による森林資源の活用</li> <li>建築物の木造化・木質化の推進</li> </ul>	<p><b>森林づくりの意識を醸成するための事業</b> 87,251千円 (95,668千円)</p> <p><b>3 県民参画の推進</b> 75,839千円 (84,687千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境学習に必要なフィールドの整備</li> <li>指導者の育成や森林ボランティアサポートセンターの運営等</li> <li>森林ボランティアや企業による森林づくり活動の支援</li> <li>県立学校における森林環境学習等</li> <li>幼少期や青年期を対象とした森林環境学習等</li> <li>流域の交流等様々な形で森林の理解を深める取組</li> <li>森林環境情報発信や森林環境税のPR</li> <li>ふくしま植樹祭の開催</li> <li>森林環境教育の調査・発信</li> </ul> <p><b>5 ふくしまの森林文化の継承</b> 10,985千円 (10,350千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内の森林文化の継承に向けた記録と体験の取組</li> <li>桐や漆、きのこ等に係る地域の産業振興</li> </ul> <p><b>6 森林環境基金の運営</b> 427千円 (531千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林の未来を考える懇談会の開催</li> </ul>	<p><b>森林環境を保全するための事業</b> 60,892千円 (74,173千円)</p> <p><b>4 森林環境交付金事業</b> <b>(2) 地域提案重点枠</b> 60,892千円 (74,173千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源(事業の対象分野)</li> <li>ア 県産材の利活用推進</li> <li>イ 木質バイオマスの利活用推進</li> <li>ウ その他</li> </ul>
<p><b>森林環境を醸成するための事業</b> 194,619千円 (189,667千円)</p> <p><b>4 森林環境交付金事業</b> <b>(1) 森林環境基本枠</b> 194,619千円 (189,667千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野)</li> <li>ア 県民参画の推進</li> <li>イ 森林の適正管理推進</li> <li>ウ 森林環境学習の推進</li> <li>エ 森林整備の推進</li> </ul>		

※( )書きの金額及び割合は令和3年度実績



令和4年度森林環境基金充当事業一覧表（実績）

（事業区分別）

単位：千円

施策区分	事業名（小事業名）	担当課（室）	令和4年度事業実績		令和3年度事業実績		増減		基金繰入 対前年比 (a)/(b)	備考		
			計	財源内訳 基金繰入金(a) 国庫等	計	財源内訳 基金繰入金(a) 国庫等	計	財源内訳 基金繰入金 国庫等				
1	森林環境の適正な保全		534,755	530,817	3,938	499,125	495,412	3,713	35,630	35,405	225	107.1%
	(1) 森林整備事業		430,276	430,276		409,368	409,368		20,908	20,908		105.1%
	(森林機能向上事業)	森林整備課	272,904	272,904		330,492	330,492		△ 57,588	△ 57,588		82.6%
	(森林機能維持事業)	森林整備課	157,372	157,372		78,876	78,876		78,496	78,496		199.5%
	(2) 里山林整備事業		80,776	80,776		65,795	65,795		14,981	14,981		122.8%
	(里山林整備事業)	森林保全課	44,778	44,778		44,005	44,005		773	773		101.8%
	(里山保全対策事業)	森林保全課	29,112	29,112		21,790	21,790		7,322	7,322		133.6%
	(里山の名木・鎮守の森診断事業)	森林保全課	6,886	6,886					6,886	6,886		皆増
	(3) 森林整備地域活動支援交付金事業		5,907	1,969	3,938	5,569	1,856	3,713	338	113	225	106.1%
	(森林整備地域活動支援交付金事業)	森林計画課	5,907	1,969	3,938	5,569	1,856	3,713	338	113	225	106.1%
	(4) 森林環境適正管理事業		11,886	11,886		11,979	11,979		△ 93	△ 93		99.2%
(森林情報(クラウド)活用推進事業)	森林計画課	11,886	11,886		11,979	11,979		△ 93	△ 93		99.2%	
(5) 花粉の少ない森林づくり事業		5,910	5,910		6,414	6,414		△ 504	△ 504		92.1%	
(花粉の少ない森林づくり推進事業)	森林整備課	3,599	3,599		3,493	3,493		106	106		103.0%	
(花粉症対策品種等種子確保対策事業)	森林整備課	2,311	2,311		2,921	2,921		△ 610	△ 610		79.1%	
2	森林資源の活用による持続可能な社会づくり		221,086	221,086		174,753	174,753	46,333	46,333		126.5%	
(6) 間伐材搬出支援事業		20,100	20,100		22,750	22,750		△ 2,650	△ 2,650		88.4%	
(林内作業路整備支援事業)	森林整備課	20,100	20,100		22,750	22,750		△ 2,650	△ 2,650		88.4%	
(7) 森林整備促進道路網整備事業		24,441	24,441		14,946	14,946		9,495	9,495		163.5%	
(森林整備促進道路網整備事業)	森林整備課	24,441	24,441		14,946	14,946		9,495	9,495		163.5%	
(8) ふくしまの低炭素社会づくり推進事業		92,062	92,062		80,950	80,950		11,112	11,112		113.7%	
(間伐材等二酸化炭素削減支援事業)	林業振興課	30,000	30,000		30,000	30,000					100.0%	
(木質バイオマス利用スラブ普及支援事業)	林業振興課	5,596	5,596		5,596	5,596					100.0%	
(ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業)	建築指導課	52,966	52,966		41,854	41,854		11,112	11,112		126.5%	
(ふくしま木の家・担い手応援事業)	建築指導課	3,500	3,500		3,500	3,500					100.0%	
(9) 木づかい社会づくり促進事業		60,875	60,875		52,803	52,803		8,072	8,072		115.3%	
(木とのふれあい創出事業)	林業振興課	5,774	5,774		4,057	4,057		1,717	1,717		142.3%	
(木材製品需要拡大技術導入事業)	林業振興課	10,763	10,763		12,018	12,018		△ 1,255	△ 1,255		89.6%	
(ふくしま県産材で東京2020大会サポート事業)	林業振興課	19,811	19,811		18,883	18,883		928	928		104.9%	
(県産材サプライチェーン構築支援事業)	林業振興課	24,527	24,527		17,845	17,845		6,682	6,682		137.4%	
(10) 地域林業技術伝承事業		3,285	3,285		3,304	3,304		△ 19	△ 19		99.4%	
(地域林業技術伝承事業)	森林計画課	2,000	2,000		2,000	2,000					100.0%	
(林業研究グループ活動支援事業)	森林計画課	1,285	1,285		1,304	1,304		△ 19	△ 19		98.5%	
(11) ふくしま木造化・木質化推進事業		20,323	20,323					20,323	20,323		皆増	
(ふくしま木造化・木質化推進事業)	営繕課	20,323	20,323					20,323	20,323		皆増	

施 策 区 分	事 業 名 ( 小 事 業 名 )	担当課 (室)		令和4年度事業実績		令和3年度事業実績		増 減		基金繰入 対前年比 (a)/(b)	備 考		
		計	基金繰入金(a) 国庫等	計	基金繰入金(a) 国庫等	計	基金繰入金 国庫等	計	基金繰入金 国庫等				
												基金繰入金(a) 国庫等	基金繰入金 国庫等
3	県民参画の推進 (12) 林業普及推進事業 (林業普及推進事業) (13) 森林環境学習の森整備事業 (森林学習フィールド整備事業) (全国植樹祭記念の森整備事業) (14) 森林づくり総合対策事業 (未来へつなげよう豊かな森林づくり事業) (みんなで支えよう森森(もりもり)元気事業) (15) 県立学校における森林環境学習推進事業 (県立学校における森林環境学習推進事業) (16) 森林とのきずな事業 (森林環境情報発信事業) (若者の森林自己学習支援事業) (17) 森林・水循環推進事業 (森林・水循環推進事業) (18) 未来を創る子どもたちの省エネ意識向上事業 (エコ七タ事業) (19) ふくしま植樹祭開催事業 (ふくしま植樹祭開催事業) (20) 森林環境等調査発信事業 (森林環境等調査発信事業) (21) 森林環境教育支援事業 (森林環境教育支援事業)	75,840	75,578	262	84,687	84,375	312	△ 8,847	△ 8,797	△ 50	89.6%		
		1,200	1,200		1,200	1,200						100.0%	
		1,200	1,200		1,200	1,200						100.0%	
		7,193	7,193		24,767	24,767			△ 17,574	△ 17,574		29.0%	
		6,271	6,271		1,895	1,895			4,376	4,376		330.9%	
		922	922		22,872	22,872			△ 21,950	△ 21,950		4.0%	
		28,379	28,379		17,502	17,502			10,877	10,877		162.1%	
		25,987	25,987		14,592	14,592			11,395	11,395		178.1%	
		2,392	2,392		2,910	2,910			△ 518	△ 518		82.2%	
		2,072	2,072		2,018	2,018			54	54		102.7%	
		2,072	2,072		2,018	2,018			54	54		102.7%	
		12,646	12,634	12	10,973	10,961	12		1,673	1,673		115.3%	
		10,855	10,843	12	9,585	9,573	12		1,270	1,270		113.3%	
		1,791	1,791		1,388	1,388			403	403		129.0%	
		1,602	1,602		942	942			660	660		170.1%	
		3,535	3,535		2,444	2,444			1,091	1,091		170.1%	
3,535	3,535		2,444	2,444			1,091	1,091		144.6%			
15,483	15,233	250	19,742	19,442	300		△ 4,259	△ 4,209	△ 50	78.4%			
15,483	15,233	250	19,742	19,442	300		△ 4,259	△ 4,209	△ 50	78.4%			
			1,870	1,870			△ 1,870	△ 1,870		皆減			
			1,870	1,870			△ 1,870	△ 1,870		皆減			
			3,730	3,730			501	501		115.5%			
			3,730	3,730			501	501		115.5%			
4	市町村が行う森林づくり等の推進 (22) 森林環境交付金事業 (森林環境基本枠) (地域提案重点枠) 5 ふくしまの森林文化の継承 (23) ふくしまの森林文化継承事業 (ふくしまの森林文化継承事業) (森からエール！めぐみ再発見事業) 6 森林環境基金の運営 (24) 森林環境基金運営事業 (森林の未来を考える懇談会運営事業)	255,511	255,511		263,840	263,840		△ 8,329	△ 8,329		96.8%		
		255,511	255,511		263,840	263,840		△ 8,329	△ 8,329		96.8%		
		194,619	194,619		189,667	189,667		4,952	4,952		102.6%		
		60,892	60,892		74,173	74,173		△ 13,281	△ 13,281		82.1%		
		10,985	10,985		10,350	10,350		635	635		106.1%		
		10,985	10,985		10,350	10,350		635	635		106.1%		
		4,956	4,956		4,505	4,505		451	451		110.0%		
		6,029	6,029		5,845	5,845		184	184		103.1%		
		427	427		531	531		△ 104	△ 104		80.4%		
		427	427		531	531		△ 104	△ 104		80.4%		
			427	427			△ 104	△ 104		80.4%			
			1,098,604	1,094,404	4,200	1,033,286	1,029,261	4,025	65,318	65,143	175	106.3%	
			1,098,604	1,094,404	4,200	1,033,286	1,029,261	4,025	65,318	65,143	175	106.3%	
積立予算	(25) 森林環境基金 (森林環境基金)	1,061,279	1,061,279		1,040,444	1,040,444		20,835	20,835		102.0%		
		1,061,279	1,061,279		1,040,444	1,040,444		20,835	20,835		102.0%	一般財源	

※【一部新規】：事業内容、補助対象等の拡大

## 令和4年度森林環境基金事業の実績について

### 1 森林環境の適正な保全

#### (1) 森林整備事業

【森林整備課】

##### 事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する。

#### ○令和4年度実績

##### ・森林機能向上事業

南会津町ほか17市町村 間伐671ha (R3実績:906ha、作業路改良350m)

林業事業者による水源区域等で荒廃が懸念される森林の整備を支援した。

##### ・森林機能維持事業

鮫川村ほか15市町村 再造林等158ha (R3実績:88ha)

水源区域等の広葉樹林化などの多様な森林資源へ誘導するための再造林等を支援した。



森林機能向上事業（間伐写真）



森林機能維持事業（下刈り写真）

#### ○累計実績（平成18～令和4年度）

- ・森林整備事業 20,919ha (H18～H27 15,911ha H28～R2 5,008ha)
- ・森林整備促進事業 8,350ha (H18～H27)
- ・森林機能向上事業 1,577ha、350m (R3～R4)
- ・森林資源造成支援事業 264ha (H28～R2)
- ・森林機能維持事業 246ha (R3～R4)

##### 事業成果

平成18年度から令和4年度までの17年間に、水源区域の荒廃が懸念される森林を対象として、30,846ha（猪苗代湖の面積約3個分）の間伐を主とする森林整備を実施した。

水源のかん養や土砂流出防止さらには二酸化炭素吸収源など森林の有する公益的機能の維持増進に寄与している。

また、水源区域や水源かん養機能又は山地災害防止機能が重視される森林510haの再造林等を実施したことにより、森林の若返りや年齢構成の平準化が図られるとともに、広葉樹林化など多様な森林資源への誘導も期待される。

事業概要

里山林において地域住民が行う、野生動物の生息域との間の緩衝帯の整備や森林づくりへの意識醸成、森林と人との絆の回復を図るための身近な森林の整備を支援する。  
 また、野生動物や森林病害虫による里山林の荒廃が懸念されるため、被害調査、防除技術等の効果実証、防除を目的とした森林整備など、総合的に取り組むことにより、野生動物や森林病害虫による被害を抑制するとともに、里山林の環境を整え住民の森林づくりへの意識醸成を推進する。

○令和4年度実績

・里山林整備事業

里山林の整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木整理） 60件 112ha（13市町村）  
 （R3実績：60件 111ha（12市町村））



緩衝帯整備の様子



緩衝帯整備後の様子

・里山林保全対策事業

- (ア) 森林保全対策  
伐倒駆除357m<sup>3</sup>、誘引捕殺160m<sup>3</sup>、予防513本
- (イ) 調査・実証  
被害量調査 9市町村  
生態調査 1町  
被害・生態把握等調査1件（県営事業）



被害木の伐倒くん蒸による  
カシノナガキクイムシ駆除



粘着テープ被覆による  
カシノナガキクイムシ被害の予防

・里山の名木・鎮守の森診断事業（R4新設）

樹木医による樹勢診断 40件

○累計実績（平成28～令和4年度）

- ・里山林整備事業（平成28～令和4年度）  
里山林の整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木処理） 累計326件 579ha
- ・里山林保全対策事業（令和3～4年度）  
伐倒駆除733m<sup>3</sup>、誘引捕殺320m<sup>3</sup>、予防1,196本



### 事業成果

地域住民等60団体（13市町村）が行う緩衝帯整備、景観整備、危険木整理（112ha）等に対して支援を行い、獣害対策や森林づくりへの意識醸成につながった。

カシノナガキクイムシの被覆等による予防措置や伐倒駆除等を行った結果、被害の抑制が図られた。

## (3) 森林整備地域活動支援交付金事業

【森林計画課】

### 事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援等を行う。

#### ○令和4年度実績

森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林境界の明確化等の活動に対し支援を行った。

森林整備地域活動支援：175ha（R3実績：165ha）

#### ○累計実績（平成23～令和4年度）

森林整備地域活動支援：37,512ha

### 事業成果

森林経営計画の作成や森林境界の明確化等の活動に対する支援を行った。平成23年度から令和3年度までの11年間の森林整備地域活動支援等により、令和3年度は83,527haの森林で森林経営計画が作成され、計画的かつ一体的な森林施策の推進が図られた。

## (4) 森林環境適正管理事業

【森林計画課】

### 事業概要

森林情報の管理と業務の効率化、市町村等との情報共有を図るために導入した「ふくしま森林クラウドシステム」及び一般県民向け森林情報地図サイト「ふくしま森まっぷ」等の保守・運用を行う。

#### ○令和4年度実績

##### ・森林情報（クラウド）活用推進事業

森林情報を管理する①森林クラウドシステムの保守・運用、②森林GISのシステム保守・運用、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業により実施した。

ふくしま森まっぷアクセス件数 1,281,958件（R3実績：991,756件）

#### ○累計実績（平成18～令和4年度）

森林GIS開発 平成18～20年度

ふくしま森林クラウドシステムの導入 令和元年度

ふくしま森まっぷ（平成21年度公開）

アクセス件数 累計約882万件

### 事業成果

年間を通してふくしま森林クラウドシステム及び福島県森林GISの保守・運用を行った。また、ふくしま森まっぷにより各種森林情報の発信を行った。

## (5) 花粉の少ない森林づくり事業

【森林整備課】

### 事業概要

再造林による森林の再生および県民参画の森林づくり推進のため、少花粉等の花粉症対策に資する苗木を育成し、住民参加型の森林づくり活動の促進を図るとともに、採種穂園の整備等により品質の良い種子を多く確保する。

#### ○令和4年度実績

##### ・花粉の少ない森林づくり推進事業

大信圃場（白河市）他1箇所の採種園台木植栽139本、花粉症対策苗木配布206本  
苗木育成（挿し付け）2,700本

（R3実績：台木植栽200本、苗木配布570本）

- ・花粉症対策品種等種子確保対策事業  
人工交配393本、カメムシ防除対策650袋  
(R3実績：人工交配210本、カメムシ防除対策610袋)



苗木挿し付け



人工交配

○累計実績（平成23～令和4年度）

ミストハウス（発根促進施設）整備	H23	
少花粉スギ採種園	H26, H30	造成0.38ha
無花粉スギ採種園	H26	造成0.04ha
特定母樹スギ採種園	H28～R3	造成0.36ha
特定母樹ヒノキ採種園	R4	造成0.04ha
苗木配布	H25～R4	2,667本

事業成果

令和4年度までに、中通り（林業研究センター内、大信圃場（白河市））と会津地方（会津圃場（喜多方市））に花粉症対策に資する採種園を計0.82ha造成しており、今後母樹を育成して少花粉スギやスギ・ヒノキ特定苗木の供給を本格化していく。

## 2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

### (6) 間伐材搬出支援事業

【森林整備課】

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援する。

○令和4年度実績

- ・林内作業路整備支援事業 500円/m  
いわき市ほか10市町村 40,200m (R3実績：45,500m)  
間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備を支援した。



作業路の整備（施工中）



作業路の整備（施工後）

○累計実績（平成18～令和4年度）

山土場から原木市場までの運搬支援  
間伐材搬出に必要な林内作業路整備

H18～R元 267,971m<sup>3</sup>

H18～R4 817,651m

事業成果

これまで搬出が十分に進んでいなかった、間伐材等未利用材が原木市場へ搬出されたことで、間伐材の利用拡大が図られた。  
また、林内作業路の整備による間伐材搬出促進により、これまで未利用材として林内に残置されていた間伐材の利用拡大を図られた。

**(7) 森林整備促進路網整備事業**

**【森林整備課】**

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す。

○令和4年度実績

・森林整備促進路網整備事業 4,200円/m

下郷町ほか5市町村 5,890m (R3実績: 3,700m)

水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道開設（施工後）

○累計実績（平成23～令和4年度）

耐久性のある作業道の開設 H23～R4 75,772m

事業成果

平成23年度から令和4年度までの12年間で75,772m（猪苗代湖約1.4周分）の作業道が開設され、森林整備と間伐材の搬出が促進された。このことにより、水源かん養機能・山地災害防止機能の回復と資源の有効活用が期待される。

**(8) ふくしまの低炭素社会づくり推進事業**

**【林業振興課・建築指導課】**

事業概要

二酸化炭素など温室効果ガスを削減し、地球温暖化防止が世界的な課題となる中、森林の適切な整備や森林資源の利活用による取組が注目されており、県民が一体となった低炭素型社会づくりが必要となっている。そこで、林業関係者等に木材の利用推進、森林の未利用資源の活用を進めることにより、低炭素型社会の形成を進めていく。

○令和4年度実績

・間伐材等二酸化炭素削減支援事業【林業振興課】

県内木材バイオマスエネルギー利用施設への燃料用間伐材の搬出・運搬支援を実施した。 1,000円/t 30,000 t (R3実績: 1,000円/t 30,000 t)

- ・ **木質バイオマス利用ストーブ普及支援事業【林業振興課】**  
木質バイオマスエネルギー利用機器の民間における導入支援を行った。  
ペレットストーブ19台、薪ストーブ81台、補助額：5万円/台  
(R3実績：ペレットストーブ13台、薪ストーブ87台、補助額：5万円/台)
- ・ **ふくしま木の家・担い手応援事業【建築指導課】**  
県産木材を活かした家づくりの担い手である県内の大工・工務店等を対象とした技術セミナー等を実施した。  
木造住宅技術セミナー 5回開催 参加者延べ175名 (R3実績：5回 111名)  
福島県木造住宅耐震診断技術講習会 1回開催 参加者32名 (R3実績：1回 18名)
- ・ **ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業【建築指導課】**  
構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20～60万円相当の補助を行い、県産木材の利用促進を図った。

補助実績：160棟 (4m3以上8m3未満31棟、8m3以上15m3未満94棟、15m3以上20m3未満21棟、20m3以上14棟、森林認証材加算0棟)  
(R3実績：148棟 (4m3以上10m3未満79棟、10m3以上15m3未満52棟、15m3以上20m3未満9棟、20m3以上8棟、森林認証材加算2棟))



間伐材積込前



間伐材搬入状況



木造講習会



県産材を活用した住宅

○累計実績

- ・ **木めぐり探検事業 (平成28～令和元年度)**  
見学体験ツアー H28～H30 11回 参加者 291名
- ・ **緑の住宅普及支援事業 (平成22～令和元年度)**  
ふくしま緑の家づくりセミナー H22 県内7方部で実施 参加者 300名  
県産材住宅モデル等の展示 H22～H29 29回  
家づくりワークショップ等の開催 H22～H30 74回 参加者3,583名  
ふくしまの住まい作品展 H28 県内7方部で実施 参加者 700名  
家づくり講習会 H29～30 4回 参加者 86名

- ・間伐材等二酸化炭素削減支援事業（平成24～令和4年度）  
県内木材バイオマスエネルギー利用施設への  
燃料用間伐材の搬出・運搬支援 459,800m<sup>3</sup>
- ・木質バイオマスストーブ普及支援事業（平成23～令和4年度）  
木質バイオマス利用ストーブ 906台  
（内訳 ペレットストーブ243台、薪ストーブ659台、兼用4台）
- ・ふくしま木の家・担い手応援事業（平成26～令和4年度）  
担い手ネットワーク登録者数 H26～H28 121名  
技術力向上に係るセミナー、研修等 H26～R4 49回 参加者1,646名
- ・ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業（平成25～令和4年度）  
補助実績 H25～R4 1,539棟

### 事業成果

- ・木材関係団体や家づくりグループとの連携による県産材のPR活動を展開し、県内外の消費者や建築関係者等へ県産材の良さや利用する意義の理解促進を図った。（木めぐり探検事業・緑の住宅普及支援事業）
- ・事業体や個人に対する補助を通じて、木質バイオマスの燃料としての有効利用について、県民の理解が深まった。（間伐材等二酸化炭素削減支援事業・木質バイオマスストーブ普及支援事業）
- ・県内の大工・工務店や設計者を対象としたセミナーや技術講習会等の開催により、木造建築に係る自己研鑽の機会が提供され、技術力の向上と伝統技術の継承が図られた。（ふくしま木の家・担い手応援事業）
- ・県産木材を活用し県内工務店が建築した木造住宅の補助棟数は、子育て世帯の割合が多く、若い世代で木造住宅の快適さが認知され、県産木材を利用する意義についても意識の醸成が図られた。（ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業）

## (9)木づかい社会づくり推進事業

【林業振興課】

### 事業概要

学校教育現場等における木育活動の推進により県民の木材利用に対する意識醸成を図るとともに、木材需要の拡大につながる技術開発や県産材のサプライチェーン構築の支援を通じて木材利用に取り組む社会づくりを促進し、森林資源の循環利用を推し進める。

### ○令和4年度実績

#### ・木とのふれあい創出事業

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部での出前講座やイベント出展での木工工作教室を実施した。また、木育を担う人材育成のため、木育インストラクター養成講座を開催した。そのほか、幼児の木に触れる機会の創出のため、木製遊具を幼保施設に貸し出すモニター事業を実施した。

木工工作用資材配布 96校、出前講座16箇所19回

木育インストラクター養成講座 19人

木製遊具モニター 14施設

（R3実績：木工工作用資材配布79校 出前講座10箇所12回 養成講座20人）

#### ・木材製品需要拡大技術導入事業

県産材の需要拡大に向けて、新たな木材利用に係る新技術・新製品の開発や、販路拡大に資する実践的な取組に対して支援を行った。

県産材を用いた広葉樹チップ製品の開発 等

計4件（R3実績：4件）

#### ・ふくしま県産材で東京2020大会サポート事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設等へ「ふくしま県産材」を提供し、県内の林業・木材産業の復興をPRするとともに、大会終了後、活用した県産材を持ち帰り、レガシーとして再利用した。県産材については、林業アカデミーふくしまのシンボルツリーや、木製ベンチ、サイクルスタンド等へ加工し自治体等へ配布した。

県産材による木製ベンチ提供数量162脚、サイクルスタンド提供数量96基、  
再利用 シンボルツリー1基、木製プレート227個、エンピツ15,000本 ほか

#### ・県産材サプライチェーン構築支援事業

大径材を利用し高付加価値製品等の製造に向けた優れたサプライチェーンの取組を支援した。

サプライチェーン構築の取組 5件（R3実績：5件）



木工工作教室



レガシー利用（シンボルツリー）

○累計実績（平成23～令和4年度）

- ・木景観形成促進事業（平成24～令和2年度）  
民間団体等による県産材を活用した施設整備 32か所
- ・新「ほっと」スペース創出事業（平成23～29年度）  
公共建築物等への県産材製品の設置・展示 59か所
- ・木とのふれあい創出事業（平成24～令和4年度）  
木工工作用資材提供 のべ1,117校、出前講座の実施 のべ110校、  
木育インストラクター養成講座 のべ39人  
木製遊具モニター のべ14施設
- ・CLT等新技术導入実践事業（平成27年度）  
実証事業等 2件
- ・木材製品需要拡大技術導入事業（平成28～令和4年度）  
新技术の開発と普及活動 20件
- ・ふくしま県産材でオリンピック応援事業（平成30～令和4年度）  
県産材の提供数量 113m<sup>3</sup>（スギ79m<sup>3</sup>、ヒノキ34m<sup>3</sup>）  
県産材による木製ベンチ提供数量 412脚  
県産材によるサイクルスタンド提供数量 96基
- ・県産材サプライチェーン構築支援事業（令和2～令和4年度）  
サプライチェーン構築の取組 13件

事業成果

- ・小学生や中学生を対象に木材利用の意義について理解を深めてもらうほか、木育を推進する人材を養成することにより、木材利用に対する理解の向上を図った。
- ・県産材を用いた新技术・新製品の開発や、販路拡大に資する実践的な取組に対して支援を行ったことにより、県産材の利活用や販路拡大に繋がった。
- ・関係機関等と連携しながら、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設等へ「ふくしま県産材」を提供し、県内の林業・木材産業の復興をPRした。また、大会終了後、木製ベンチやサイクルスタンド等を県内市町村の公共施設や小中学校等に引き渡し、レガシーとして再利用することにより、木材利用の意義や持続可能性の理解促進を図った。
- ・資源量が増加している県産大径材を活用するためのサプライチェーンが構築された。

(10) 地域林業技術伝承事業

【森林計画課】

事業概要

地域の特性を活かし多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援し、各地域の条件を踏まえた施業システムの構築と継承を行う。

○令和4年度実績

・地域林業技術伝承事業

各地域の特性を活かした多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援した。  
支援団体 流域林業活性化センター 2団体（R3実績:2団体）

・林業研究グループ交流促進事業

林業技術や特色ある取組を伝承・普及する県内の林業研究グループの活動を促進した。  
支援団体 県内林業研究グループ 7団体 (R3実績:7団体)



QGIS活用検討会写真



林業研究グループ活動写真

事業成果

地域の特性を生かした施業技術の実証試験や林業技術の伝承・普及を支援することで地域における林業の課題解決と振興に貢献した。

県内の林業研究グループの活動を促進したことにより、県民を対象とした林業研究グループが持つ林業技術等の普及が図られた。

○累計実績(平成28～令和4年度)

・地域林業技術伝承事業(平成28～令和4年度)

支援団体 延べ20団体

・林業研究グループ交流促進事業(平成29～令和4年度)

支援団体 延べ38団体

(11)ふくしま木造化・木質化推進事業

【営繕課】

事業概要

木材を利用した快適な生活空間の創出と「福島県2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、中大規模建築物の木造化・木質化を促進するためのガイドラインを作成する。

○令和4年度実績

農林水産部と連携しながら、木造建築に関する学識経験者や県内の建築・林業関係実務者で構成する検討会を開催し、中大規模県有建築物の基本構想を作成する段階で木造化・木質化を検討するためのガイドライン(案)を令和5年3月に作成した。



検討会の開催状況

事業成果

全国的に中大規模木造建築物の実績が少ない中で、木造化・木質化の考え方や検討の進め方などをガイドライン(案)として取りまとめた。令和5年度に木造化・木質化のメリット・効果等を「木造化・木質化の良さ」として見える化する調査・検討を行った上で、ガイドラインとする予定。

### 3 県民参画の推進

#### (12) 林業普及推進事業

【森林計画課】

##### 事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。

##### ○令和4年度実績

###### ・普及推進事業

令和4年10月22日（土）に開催された林業祭において、森林や林業、木材にふれあう各種イベントなどの実施により、森林・林業の役割やその重要性、林業という仕事の魅力について発信し、併せて震災からの復興と森林・林業の再生に対する県民意識の醸成を図った。

・来場者：1,100名



ふくしま伐木チャンピオンシップ



森のオークション

##### ○累計実績（平成22～令和4年度）

林業祭 H22～R4 来場者累計36,800人

##### 事業成果

森林・林業の重要性や役割、林業の現状や魅力などを県民に対し発信するためのPR活動を実施したことにより、県民の森林・林業・緑化に対する意識が高まった。

#### (13) 森林環境学習の森整備事業

【森林計画課】

##### 事業概要

全ての県民が、森林環境税の重要性や林業の役割についての学習や、森林とのふれあいのために、容易に利用できるフィールドの整備を行う。

##### ○令和4年度実績

###### ・森林学習フィールド整備事業

施設名：県民の森 森林整備 間伐0.15ha、下刈り0.98ha  
緑化センター 支障木整理 33.6t

(R3実績：県民の森 森林整備 間伐0.15ha、下刈り0.98ha)

###### ・全国植樹際記念の森整備事業

植栽木保護工 10本

(R3実績 森林整備 盛土工0.12ha)

##### ○累計実績（平成23～令和4年度）

###### ・県有林フィールド整備事業（平成23～平成27年度）

6施設（県民の森、昭和の森、緑化センター、翁島県有林、舟津県有林、青松ヶ浜県有林）

間伐、除伐、危険木除去等 30.59ha

木製手すり設置 58.2m 案内板等設置

木製階段 75段 歩道工 282m 護岸補修 15.0m



- ・ 歩道バリアフリー化事業（平成23～26年度）
  - 2施設（県民の森、緑化センター）
  - 木質系チップ舗装歩道 330m
  - バリアフリー歩道 150m、木質舗装 211m<sup>2</sup>
- ・ 森林環境学習の森整備事業（平成28～令和4年度）
  - 2施設（県民の森、舟津県有林、緑化センター）
  - 下刈り 4.86ha、間伐 2.13ha、除伐 3.12ha、主伐 1.0ha、遊歩道 186m
  - 伐採及び地拵 1.00ha
  - 支障枝剪定 124m
- ・ 全国植樹祭記念の森整備事業
  - 森林整備4箇所



県民の森におけるフィールド整備

#### 事業成果

県民の森において森林整備を実施し、県民が安全に森林とふれあい・学習するためのフィールドを整備し、利用者の安全確保を図るとともに、森林・林業への理解の促進につながった。

また、お手植えの森整備やお手播きの森整備事業を行い、第69回全国植樹祭によって培われた森林づくり意識の引き継ぎを図った。

### (14) 森林づくり総合対策事業

#### 【森林計画課】

#### 事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、更には企業やNPO等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。

#### ○令和4年度実績

- ・ 未来へつなげよう豊かな森林づくり事業

##### ア 森林ボランティアサポート事業

森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。

(ホームページアクセス件数(R4.4～R5.3) 79,686件)

(R3年度ホームページアクセス件数：83,198件 対前年比：95.8%)

##### イ 森林づくり指導者養成事業

森林の役割や重要性を広く県民に伝える「もりの案内人」や森林整備のスペシャリスト「グリーンフォレスター」を養成する講座を開催し、受講修了者を認定した。

・ もりの案内人 講座受講者20名、認定者11名。

(R3実績：講座受講者15名、認定者13名)

・ グリーンフォレスター 講座受講者 3名、認定者2名

(R3実績：講座受講者3名、認定者2名)

##### ウ 子ども里山教育支援事業

幼児期から森林に親しむ機会を創出するため、里山教育・自然保育活動を支援する。

保育所等の体験活動 29回、検討会 3回、指導者研修会 2回

## エ 県民参画の森林づくり促進事業（R4新設）

森林づくりイベントの開催や森林ボランティアによる森林整備活動、緑化活動などを自主的に行う団体を支援した。  
森林ボランティア団体等への支援 13団体

### ・みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業

企業・団体等が社会貢献活動で行う森林整備において、活動の支援を行うとともに企業等とづくりの協定を締結した。  
協定締結1件（R3実績：協定2件）



福島県グリーンフォレスター及びもりの案内人認定書交付式



子ども里山教育支援事業の様子

## ○累計実績（平成18～令和4年度）

### ・未来へつなげよう豊かな森林づくり事業

#### ア 森林ボランティアサポート事業（平成18～令和4年度）

ホームページアクセス件数 1,141,929件

#### イ 森林づくり指導者養成事業

もりの案内人養成者数（平成18～令和4年度） 336人  
（前身事業も含めた累計は621人）

グリーンフォレスター養成事業（平成30年度～令和4年度）

（旧名称 森林ボランティアリーダー育成事業）（平成18～29年度）

グリーンフォレスター認定者 63人（前身事業も含めた累計は134人）

### ・森林ボランティア団体活動推進事業（平成18～令和3年度）

森林ボランティア団体支援 187団体

### ・みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業（平成29～令和4年度）

（旧名称 カーボンオフセット森森（もりもり）元気事業）（平成22～28年度）

森林づくり活動協定締結 42件 65.62ha

## 事業成果

未来へつなげよう豊かな森林づくり事業では、県内各地域において自主的に森林整備活動を実施している森林ボランティア等の活動を支援することにより、県民参加による森林づくり運動の推進が図られた。

また、森林ボランティアに関する総合的な窓口として「森林ボランティアセンター」を開設し、広く県民に森林ボランティアに関する情報を発信し、森林整備の知識や技術を身につけることを目的とした研修会を実施して、森林づくりに対する意識醸成を図った。

そして、森林の役割や重要性を県民に伝える「もりの案内人」を養成することにより、森林環境学習や自然観察等の森林づくり活動の推進が図られ、次世代を担う子どもを中心に県民の緑化意識の高揚が図られた。

さらに、森林整備に関する専門的知識と技術を要する「グリーンフォレスター」を育成する養成講座を開講して、県内で活動する森林ボランティア団体等に技術指導を行う人材の養成を図った。

みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業では、企業に対して森林づくり活動の普及啓発を行ったことにより、県民の森林づくり意識の醸成が図られた。

## (15) 県立学校における森林環境学習推進事業

【高校教育課】

### 事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する。

### ○令和4年度実績

実施校数 会津工業高校ほか 計10校 人数 2,843名 (R3実績: 9校)

#### 取組事例

ロープを使って学校敷地内の木に登る体験を通して、南会津地域の自然環境を構成する中心であり、長く暮らしを支えてきた木に対する興味・関心を深めることができた。ロケットストーブ製作では、木質バイオマスを燃料としたストーブの作成を通してカーボンニュートラルへの意識が高まった。これらの取組は、令和4年度「ふくしまゼロカーボン宣言事業」(学校版)において最優秀賞を受賞した。(田島高校)



活動状況 (磐城農業高校)



活動状況 (平工業高等学校)

### ○累計実績 (平成18~令和4年度)

実施校数 H18~R4 延べ128校

### 事業成果

森林関係の講師を招聘した学習、伐採作業や枝打ち体験など森林の保全に関する学習、間伐材や森林資源の活用に関する学習、山野草の移植を通して地域の森林の再生を図るなど環境保護に関する学習などの事業を実施した。10校、合計2,843名の生徒が事業に参加した。

## (16) ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業

【森林計画課】

### 事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくり活動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信を図る。

### ○令和4年度実績

#### ・森林環境情報発信事業 【森林計画課】

ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備や県産材の利活用、森林づくりの推進などについて発信した。また、森林認証制度の普及、及び林業事業者の認証取得に向けた取組を支援した。

森林環境税PRパンフレット 20,000部 森林環境学習下敷き作成 10,000枚

森林環境税PRコースター440個 木のよさPRパンフレット 15,000部

森林認証取得・継続補助事業者数 8事業者 (R3実績: 8事業者)

#### ・若者の森林自己学習支援事業【森林計画課】

県内の大学等におけるサークル活動など、グループによる森林に関する自己学習を支援した。

実施団体 森林自己学習取組学生グループ 6団体 (R3実績: 6団体)

ナチュラルライフスタイル部こおりやま開成の杜復活プロジェクト  
(郡山女子大学) ほか5団体



森林自己学習事業（成果発表会）



木製コースター

### ○累計実績（平成25～令和4年度）

#### ・森林環境情報発信事業（平成25～令和4年度）

新聞記事掲載 7回

県政広報テレビ放映 10回

テレビ・ラジオCM 合計706回

森林環境税PRパンフレット、ポスター作成

合計 パンフレット 248,000部、ポスター 6,800枚

森林環境税PR鉛筆4,850セット 森林環境税PR割箸3,000セット

森林環境学習下敷き作成 58,000枚 森林環境税PRコースター 1,290個

森林環境税PR動画作成 1本

#### ・森林づくり活動推進事業（平成25年度）

森林づくり検討委員会開催 3回 委員7名

「森林づくり活動推進についての提言」取りまとめ（H25.12.20）

#### ・森林づくり県民運動推進事業（平成26～30年度）

森林づくり活動ワークショップ 3か所

シンポジウム 2か所

全国植樹祭PR活動 84箇所

全国植樹祭連携イベント 32箇所

苗木のスクールステイ 県内小学校131校

苗木のホームステイ 個人世帯73世帯、企業団体90団体

### 事業成果

新聞広告や県民へのパンフレット等の配布により、本県の森林の概要や良さ、森林林業に関する取組など森林環境に関する情報を発信することで、ふくしまの森林に関する関心と理解の拡大により、県民参加による森林づくりをさらに加速させることができた。

## (17) 森林・水循環推進事業

【復興・総合計画課】

### 事業概要

健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。

### ○令和4年度実績

森林・水資源等を活かした相互交流会の開催

ふくしまの水に触れよう2022 参加者 76名

流域水循環に関する協議の場の開催

地方流域水循環協議会研修会 1回

○累計実績（平成28～令和4年度）

森林・水資源等を活かした相互交流会の開催	
福島県水環境活動交流会	参加者284名
全国河川愛護団体交流会	参加者 78名
水を育む森林環境学習発表会	参加者154名
交流行事、体験ツアー	参加者323名
流域水循環に関する協議の場の開催	計20回開催



ふくしまの水に触れよう2022



ふくしまの水に触れよう2022

事業成果

森林・水資源を生かした相互交流会を開催し、令和4年度の交流行事参加者は76名となった。流域における森林・水環境教育の実践により、健全な水環境の推進が図られた。

(18) エコ七夕事業

【環境共生課】

事業概要

保育園・幼稚園等を対象に、エコに関する願いごとを考える七夕イベントの開催を支援し、園児等の環境意識の啓発とあわせて、家庭への啓発効果の普及を図る。

○令和4年度実績

・エコ七夕実施園数	103園	参加者5,779名	(R3実績：106園	参加者6,153名)
・もりの案内人派遣園数	20園	参加者 375名	(R3実績：12園	参加者 322名)
・エコ七夕in県庁	1園	(ふれ愛保育園(伊達市)	参加者8名)	
		(R3実績：つばさ保育園かすみ園(二本松)	参加者17名)	



もりの案内人の紙芝居の様子



木の短冊に書いた願い事を笹に飾る様子

事業成果

幼稚園・保育園等で、例年約100園の七夕イベントを支援し、子どもたちの地球環境を想うやさしい心の育成を図った。

○累計実績（平成28～令和4年度）

・エコ七夕実施園数	682園	参加者37,731名
・実施園のうち、もりの案内人派遣園数	79園	参加者 2,180名
・実施園のうち、エコ七夕in県庁実施園数	6園	参加者 180名

## (19) ふくしま植樹祭開催事業

【森林計画課】

### 事業概要

全国植樹祭の開催理念を継承して、ふくしまの美しい緑と心が、未来も豊かでありつづけるよう人と人との繋がりや、森林と人との絆を深める循環の理念に基づく森林づくりをおこなう。

### ○令和4年度実績

西白河郡矢吹町にある恩賜林において、約500名が参加して植樹活動及び萌芽整理を行った。

植栽本数 500本、萌芽整理 面積 約1.0ha



第5回ふくしま植樹祭



第5回ふくしま植樹祭

### ○累計実績（令和2年度～令和4年度）

- ・令和2年度 中止
- ・令和3年度 植栽本数 8,200本 植栽面積 1.26ha 植栽樹種 クロマツ
- ・令和4年度 植栽本数 500本、萌芽整理 面積 約1.0ha

## (20) 森林環境教育支援事業

【森林計画課】

### 事業概要

全ての世代への森林環境教育を支援するため、教育現場の意見や要望を調査し、教材・教具の制作に向けた方針を取りまとめ、県民の森林を守り育てる意識の醸成を図る。

### ○令和4年度実績

県内の森林環境教育施設における事例調査や有識者から構成されるワーキンググループを設置し、意見等を反映した森林環境教育に係る情報発信のためのポータルサイトを作成した。

### ○累計実績（令和2年度～令和4年度）

- ・県内教育機関の森林環境教育に関する意見や要望の調査
- ・小学校における森林環境学習の事例作成 3パターン
- ・県内の森林環境教育施設における事例調査を実施し、森林環境教育に係る情報発信のためのポータルサイトを作成した。

### 事業成果

教育現場の意見や要望を調査したことで森林環境教育の推進に向けた課題を洗い出し、教材・教具の制作に向けた方針を取りまとめることができた。

引き続き、森林環境教育の支援に向け、事例の収集や情報発信を通して、森林環境教育の裾野を広げる取組を実施していく。

## 3 市町村が行う森林づくりの推進

### (21) 森林環境交付金事業

【森林計画課】

### 事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。

## ○令和4年度実績

### ・森林環境基本枠

59市町村 (R3実績: 59市町村)

①県民参画の推進 36市町村 (R3実績: 36市町村)

県民を対象とした森林教室、森林観察、林業体験、等

・木製品作成体験(伊達市)等

②森林の適正管理推進 47市町村 (R3実績: 48市町村)

森林整備のための協定締結、現地調査・測量、森林情報システムの委託

・森林関連情報及び隣地台帳の適正管理(天栄村)等

③森林環境学習の推進 59市町村 (R3実績: 59市町村)

森林環境学習実施校 小学校275校、中学校92校、計367校 全618校の59%

(R3実績: 小学校283校、中学校98校、計381校 全637校の60%)

人数 小学校27,002人 中学校 6,099人 計33,101人 (全131,133人の25%)

(R3実績 小学校27,267人 中学校 7,128人 計34,395人) (全132,881人の26%)

・木工クラフト体験、自然観察等(いわき市)

④森林整備の推進 37市町村、81ha (R3実績: 36市町村、109ha)

間伐、野生生物との共生林整備、等

・野生生物との棲み分けを図る緩衝帯の整備29ha 6町村(R3実績: 34ha)



県民参画の推進(木工教室の様子・富岡町)



森林環境学習の推進(樹木観察の様子・埴町)

### ・地域提案重点枠

18市町村、36件 (R3実績: 19市町村、40件)

①県産材の利活用推進 18市町村、30件 (R3実績: 18市町村、32件)

小中学校・幼稚園等の木造・木質化、木製机・椅子等の導入、など

・川口保育所及び横田保育所に県産材を活用した木製遊具の導入(金山町)等

②木質バイオマスの利活用推進 2市、2件 (R3実績: 3市、3件)

ペレットストーブ導入 合計7台 (R3実績: 合計11台)

薪ストーブ導入 なし (R3実績: なし)

・謹教小学校へのペレットストーブの導入(会津若松市)など

③その他 3市町 3件 (R3実績: 4市町村、4件)

「【木のまち構想】木のまち普及促進プロジェクト」の開催(南会津町)など



木製遊具の導入(金山町)



四阿の設置(柳津町)

○累計実績（平成18～令和4年度）

・森林環境基本枠

- ①県民参画の推進実施 H18～R4 50市町村
- ②森林の適正管理実施 H18～R4 50市町村
- ③森林環境学習実施 H18～R4 全59市町村 延べ6,311校
- ④森林整備実施 H23～R4 51市町村、間伐、危険木除去等1,332ha

・地域提案重点枠

- ①森林整備実施 H18～H22 47市町村 210件（間伐等1,087ha）
- ②県産材の利活用推進実施 H18～R4 52市町村 586件
- ③木質バイオマスの利活用推進実施  
H18～R4 28市町村 89件  
（ペレットストーブ282台 薪ストーブ10台）
- ④その他の取組実施 H18～R4 12市町村 64件  
（漆の芸術祭、PTA等による里山環境再生、等）

事業成果

交付金を活用することにより、これまでに森林環境基本枠については全59市町村が県民参画や森林環境学習の推進などに取り組み、地域提案重点枠については52市町村が県産材の利活用推進や木質バイオマスの利活用推進などに取り組み、市町村との連携のもと、県民一人一人が参画する森林づくりを効果的に進めることができた。

5 ふくしまの森林文化の継承

(22) ふくしまの森林文化継承事業

【森林計画課・林業振興課】

事業概要

先人たちが育んできた森林と人との絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PRを行う。

○令和4年度実績

・ふくしまの森林文化継承事業 【森林計画課】

- 森林文化記録映像 2本
- 森林文化公開体験イベントの開催 体験展示2日間 体験プログラム 5回

・森からエール！めぐみ再発見事業 【林業振興課】

桐や漆、きのこといった森の恵みに関する地域の産業振興や県民等の理解を深める取組を行った。

- 漆振興のためのワーキンググループ（第1回）（喜多方市） 9名
- 漆振興のためのワーキンググループ（第2回）（喜多方市） 9名
- 桐玉植苗植樹祭（会津坂下町） 23名
- 漆の意見交換会（喜多方市） 16名
- 桐の意見交換会（喜多方市） 16名
- ほんしめじ福島H106号生産支援 菌床4,761本販売
- ほんしめじ福島H106号生産指導 現地指導19回
- 野生きのこ原種菌等の保存 596種



会津桐玉植苗植樹祭



ほんしめじ



## ○累計実績

- ・ **ふくしまの森林文化継承事業（平成24～令和元、令和3～4年度）**
  - 森林文化公開体験イベント開催 H24～H27, H29～R4 27回
  - 森林文化調査カード公開 H24～H28 125件（H18からの累計実績175件）
  - 森林文化記録映像公開 H18～R4 25本
  - 森林文化出前講座 H30～R4 12回
- ・ **森からエール！めぐみ再発見事業（平成25～令和4年度）**
  - 伝承文化継承イベント開催 H25～R4 24回 参加者902名
  - 伝承文化継承研修会 H28～R4 47回 参加者218名
  - 野生きのこ料理教室・試食会 H28～R2 8回 参加者383名
  - 技術開発 H28～R2 5件

### 事業成果

・ これまでに実施した本県の森林文化の調査結果を175件の調査カードに取りまとめ、「森のくらし」をテーマに23章の森林文化記録映像を作成し、ホームページでの公開や森林文化体験イベントの実施等で、ふくしまの森林文化を広く発信した。

・ 桐の栽培者や漆掻き職人の育成、桐の玉植苗の植樹を行うことで、次世代への知識や技術の伝承に寄与した。

また、野生きのこの人工栽培に成功した福島県オリジナル品種「ほんしめじ（愛称：ふくふくしめじ）」の栽培指導を行い、周知することで、野生きのこに関する食文化の理解・継承に対する意識醸成に寄与した。

さらに、特用林産物を利用した機能性の高い製品の開発により、県産特用林産物の魅力や新たな利用方法について、幅広い世代に周知することができた。

## 6 森林環境基金の運営

### (23) 森林環境基金運営事業

【森林計画課】

#### 事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するために「<sup>もり</sup>森林の未来を考える懇談会」を運営する。

## ○令和4年度実績

### ・ 森林の未来を考える懇談会運営事業

森林の未来を考える懇談会を3回開催した。

第1回（令和4年7月7日）

- ・ 森林の未来を考える懇談会の役割について
- ・ 令和3年度森林環境基金事業の実績について
- ・ 令和4年度森林環境基金事業の実施について

第2回（令和4年10月26日）

1 現地調査

- (1) 森林環境交付金（地域提案重点枠）
- (2) 花粉の少ない森林づくり事業
- (3) ふくしま県産材で東京2020サポート事業（林業アカデミーふくしま）

2 意見交換

第3回（令和5年3月23日）

- ・ 令和4年度森林環境基金事業の実績見込みについて
- ・ 令和5年度森林環境基金事業の実施について

## ○累計実績（平成18年度～令和4年度）

- ・ 森林の未来を考える懇談会運営事業（平成18～令和4年度）
  - 懇談会開催 H18～R4 59回
- ・ 森林環境税関連施策検討事業（平成24～25年度）
  - 森林環境基金事業成果発表会開催 H24～H25 2回 発表題数16題

### 事業成果

これまで委員10名で構成する「<sup>もり</sup>森林の未来を考える懇談会」を59回開催し、取組に対する意見や評価等について検討していただくことで、県民の参画と透明性を確保することができた。

